

カメルーン★どうでしょう

2024年8月
カメルーン通信 No.22
JICA 海外協力隊
出町 卓也

Jeux d'enfants en plein air.

Bonjour! カメルーンからでまちです。パリオリンピックが開催されました。ここカメルーンとフランスの時差はサマータイムの影響で1時間早いだけなので、ほぼ同時刻で試合を観ることができます。

カメルーンからは陸上（男子 100m、女子 400m 障害）、柔道（女子 78 キロ超級）、競泳（男子 100m 自由形、女子 50m 自由形）、卓球女子シングルス、の種目で計 6 名が出場予定です。先日、首都ヤウンデのスーパーでオリンピック応援Tシャツが売っていました。緑色のシャツ、ライオンのマークが入ったシンボルマークがなかなかかっこよく、サッカーのユニフォームと類似していて、カメルーンらしいなと感じました。



◇子どもたちに人気がある外遊び。

学校の休み時間は 30 分。学年を問わず、多種多様なグループに分かれて遊んでいます。今回はそんな子どもたちの中で流行っている外遊びをピックアップしました。

①サッカー

断トツの一番人気です。誰かが先生からボールを受け取った時が試合開始の合図です。ボールがない時はペットボトル、それもない時はペットボトルのフタを蹴って遊んでいます。ポジションはなく、全員でボールを追いかけて、まるで誰が蹴るかを競い合うようなゲームになっています。男子が主ですが、女子も混ざっています。



②リズム遊び

女子の人気 No. 1 です。二人が向き合い、手拍子をしなからステップを踏みます。互いのステップがうまく合えば成功です。靴下やはだしなど、ステップが踏みやすいこだわりがそれぞれにあるようです。大人数で行う時は円の中心に立った子がどんどん相手を指名し、ステップを踏みます。一見するとダンスバトルのようです。非常に盛り上がります。

③ドッチボール

男女問わず遊んでいますが、どちらかという女子の方が楽しんでます。ボールは靴下や手袋をひっくり返して丸めたものを使います。ルールは日本と大体同じです。なかなか見事なフォームで投げ込んでいますが、ボールが小さいので、これがなかなか当たりません。内野にいる子どもたちは、キャッチするよりも逃げる方が楽しいようです。



④縄跳び

最近一部女子の中で静かに流行っている遊びです。どこからか仕入れてきた長いヒモを使って、長縄の要領で飛んでいます。背の高い子が中に入ると、跳躍が高すぎて頭が縄にひっかかることもあります。日本のような一人で飛ぶタイプはやっていませんが、誰かに回してもらって跳ぶのが楽しいようです。

⑤バク転、ハンドスプリング

遊んでいるのは主に身軽な男子たち。敷地内にある段差を上手く使い、バク転やハンドスプリングをしています。中には段差を使わず、平地で行うことも。全身のバネが強く、思い切りよく跳んでいる姿は迫力満点です。これが10歳前後と思うと、その身体能力の高さに驚くばかりです。

一方、体育の授業で反復横跳びをしてみると、抜群の跳躍を見せた彼らでもうまくできませんでした。重心を低く保ちながら足を動かし続けることは、日常でやらない動きであり、相当難しいようです。



◇全力で遊ぶ子どもたちは好奇心のかたまり。

授業が始まる笛の音が聞こえても、しばらくは遊び続け、時に怒られることもある子どもたち。雨が降っていてもおかまいなしに外で遊ぶので、先生があきれて見ていることも。ちなみに私が来てからは、主に低学年で「でまちをひたすら追いかけまわすゲーム」が流行しており、毎回ターゲットにされる私は子どもたちのパワーに逃げ回っている日々です。

自分たちで楽しいことを発見し、全力で遊ぶ子どもたちの様子は、楽しいことを探すこと、見つけることに長けているなと感じます。ちょっとしたことに興味をもち、遊ぶ姿はまさに好奇心のかたまりです。

教室の中や教室前の通路で遊ぶ子どもたちもいます。興味深い工夫がされている彼らの遊び。その紹介は『JICA 海外協力隊の世界日記：子どもたちに人気がある中遊び』にて記事にしていますので、ぜひ横のバナーから世界日記のページを覗いてみてください。それでは、A bientôt !

